

「介護予防・日常生活支援総合事業」の活動について

「ナルクすこやか」管理者：和田亮吉

ナルク「天の川クラブ」は、枚方市が行う「介護予防・日常生活支援総合事業」に地域貢献の一環として参画し「ナルクすこやか」の事業活動を進めて3年が経過しました。

今後、私たちも高齢化と共に関わりが生じてくる総合事業（生活支援）です。

今回、主な内容を解説します。

Q：総合事業の制度や目的は？

A：高齢者（65歳以上）の人が、住み慣れた地域で、生きがいを持ちながら生活できるように支援するための事業で主に2つあります。

①介護予防・生活支援サービス事業（訪問型サービスと通所型サービス）

②一般介護予防事業（住民や民間サービスと連携して、生活機能の改善や生きがい作りを行う）

Q：介護予防・生活支援サービス事業（訪問型サービス）を利用できる人は？

A：要介護認定の申請をして、要支援1又は2に認定された人です。申請前に最寄りの地域包括支援センター（高齢者サポートセンター）に相談します。

Q：「ナルクすこやか」では、どのようなサービス（活動）を行っているの？

A：前記①の内、訪問型サービスを行っています。

要支援1・2の利用者さんの居宅掃除・買物・薬の受取などです。

Q：支援活動は、誰でも出来るの？

A：「枚方市生活支援員養成研修」を修了して、「ナルクすこやか」に登録した支援員に限られます。

※本年度のナルク「天の川クラブ」が担当する研修は、6月と11月に実施予定。「天の川クラブ」会報や「広報ひらかた」で募集します。

Q：「ナルクすこやか」の活動状況は？

A：本年3月現在の利用者さんは47名で、支援員34名（会員外含む）が活動しています。

※この事業は、枚方市民を支える大切な活動です。詳しくは、「ナルクすこやか」（事務所2階 平日10時～15時）へぜひお越しください。